令和５年度（２０２３年度）

第 二 回　吹 田 市 立 博 物 館 協 議 会

議　　事　　録

日　　時　　令和５年（２０２３年）１１月２２日（水）　午前１０時００分～午前１２時００分

場　　所　　吹田市立博物館　　２階　講座室

出席委員　　小田　忠文、澤井　浩一、橋爪　節也、曲村　恵美、山口　廣治（敬称略、５０音順）

欠席委員　　飯塚　一幸、岩崎　健一、勝田　宣孝、齋藤　玲子、中久保　辰夫、八代　健志
（敬称略、５０音順）

事務局出席者　　中牧　弘允（特別館長）、葉山 進（文化財保護課長）、
高橋　真希（博物館長・主幹）、河島　明子（博物館副館長・主査）、
竹原　千佳誉（主任）、藤井　裕之（主任）、池田　直子（主任）、
藤田　裕介（係員）、笠井　一司（係員）

【１　開　会】　高橋館長（出席状況の確認）
＊委員のうち出席者５名、委任状７名、本会は成立しています。

【２　挨　拶】　中牧特別館長　挨拶

【３　傍聴報告】　傍聴者なし

（館　長）ｐ１委員名簿を御覧ください。新委員として社会教育関係者でＰＴＡ協議会顧問の曲村さんです。
また、案件に入る前に訂正がございます。次第最終行、孔明寅となっているところ、孔寅と訂正願います。

【４　案件（１）事業報告（令和５年度前半）について】
（議　長）出席委員が少ないので積極的に意見交流ができたらと思います。案件（１）事業報告（令和５年度前半）について、事務局より説明をお願いします。
＊事務局より説明。
（議　長）事業報告について、御質問・御意見はありませんか。
（委　員）ｐ１２の中段、ハチの巣が八角形とあるがどう考えても六角形だと思いますが。
（館　長）アンケートの回答については、訂正せずにそのまま記載しています。
（議　長）他に御意見ございますか。

（委　員）ＳＮＳは吹田市の公式のアカウントを使われているということですが、吹田市のルールとして公式しか使えないということですか。

（館　長）必ずしも公式というわけではありませんが、広報課との調整において公式の方を活用するようにということです。

（委　員）多分そういうことかとは思いますが、インスタグラムとかアピール力の強いものに取り組んでほしいと思うのですが。

（館　長）ＳＮＳに関してはＬＩＮＥでの配信を始めたのですが、思いがけない効果があり、イベントの告知をすると申込者が増えるということも起こっています。Facebook は以前からやっていますが、それ以外にも色々考えていきたいとは思っています。

（議　長）一つ目は、大坂夏の陣と吹田村の展示趣旨等がありますが、吹田村との関係は徳川方について活躍したということですが、この解説文を読んでいたら具体的に何をしたのかということを書いていない。アンケートの結果も、吹田でも様々な出来事があったということを知ったという内容は多いが、吹田が徳川方についたのでこうなったというアンケート回答がないというのが気になるのですが。

　二つ目は、ｐ１０「夏季展示」について、市民参画展示というので夏季展示実行委員会が組織されたとあるが、市民が何人参画したということについて説明がない。また、市民参画による成果や市民参画の方法を問うようなアンケート項目があってもいいのではないかと思いますが、この２点についていかがですか。

（事務局）大坂の陣と吹田村について、橋本家文書の中に徳川方のために働いたといった内容がありますが、他の吹田地域であるわけではないので、橋本家自身が当時の武将のために、神崎川を渡ろうとしていた軍勢のために、神崎川の向こう側で行われていた百姓一揆を押しとどめるなどの手助けを行った、そういう先祖の働きとして書かれている資料があり、それを紹介させていただきました。アンケートではあまり出てきませんが、橋本家文書の価値、吹田市内の庄屋で文書を持っているところはたくさんありますが、江戸前期、その直前の文書が残っているところはほとんどございません。そういった意味で、今回紹介できたのは良かったのかと考えています。吹田市史編纂の時にはこういった正文が確認できていませんでしたので、それが実在していることを紹介できて良かったと考えています。

（議　長）今の件については、もう少し具体的に報告書に入れておいた方が、これが仮に年報とかに掲載されるとしたら橋本家はいったい何を徳川家にしたのか、分からないままで終わってしまう。今回初めて分かったということであれば、展示目標の達成度のところに書いておいた方がいいのではないか。

（事務局）夏季展示実行委員会につきましては公募市民になっていますので、展示を一緒に行いたいという方に手を挙げていただいて、人数制限等はなく実行委員会のメンバーに入っていただけます。今年度につきましては１２人の方に参加いただきました。近年人数が減少しているという課題があります。

　実行委員会の中にももう少し人数を増やしたいという意向もあり、事務局としても働きかけていますが、形として現れていない状況にあります。

　もう一点、市民参画のアンケート項目がないということについてですが、唯一ｐ１３に「市民主催で展示できるのが素晴らしい」といった意見があります。実行委員会の方々も市民参画を前面に押し出すような展示をあまりなさっておられないというところもありますので、観覧

者で市民参画の展示であるということに気づいていない方もおられるかもしれません。観覧者の感覚としては、観覧したものがどうだったのかということに関心があるのではないかと考えています。

（議　長）私の考えとしましては、展示だけではなく企画も参加していますので、その時のテーマによっては、市民の方も様々な立場の方がおられ混乱する方もおられるのではないか。市民の方が展示に参加できるということが市民に伝わっていれば、私も参加したいということになるのではないか。内容的に難しい課題をテーマにすることもあるかも知れませんが、市民参画であるということを見える形にした方がいいのではないでしょうか。

（委　員）今のアンケートについてですが、回答総数としては少ないということでしょうか。アンケート項目について反映がないということについて、項目設定が必要ではないかと思いますが。

（議　長）今の委員の御意見で、取組テーマに応じて「あなたは市民として参加したいと思いますか」といった項目があれば、この展示は市民参画で行われていると分かるのではないかと思います。

（委　員）この市民参画による展示は２００６年から始まっている。初めのころはマスコミでも市民が企画運営をしているという枕言葉がありましたが、最近、広報の面で市民に伝わっていないと考えています。いきなり「市民委員を募集します」と市報に掲載されますが、もう少し「市民参画」というところを広報なさった方がいいのではないかと思います。

（事務局）御意見のとおりだと考えています。先ほどのアンケートの項目の件も加えまして、一度検討してまいりたいと考えています。広報に「市民参画」というのが触れられていないというのが実態だと思いますので、参考にさせていただきます。

（委　員）展示会のタイトルに市民参画展示という内容を入れていただくとか、市民が見て「市民参画」の展示会だということが分かるようにしたらどうかと思いました。こういう市民が参画して展示を行うことが来館者の興味関心にもつながり、参画者を増やしていくということにつながっていくと考えました。非常にいい取組を長く続けておられると感じました。

（委　員）観覧数に対してアンケート回収率が低いとおっしゃられていたので、アンケートもＱＲコードで読み込んでその場で回答するような方法を取り入れたら、若い人たちもその場で回答していただけるようになると思いますので、そのことについても検討していただければと思います。

（館　長）アンケートの回収率が低いというのは現実ございまして、１０％程度の回収率になっています。これは長年課題にしているところですが、先ほど委員がおっしゃったようにＱＲコードとかデジタルアンケートなど、その場で回答できる方法を工夫してまいりたいと思います。

（議　長）橋本家文書の中に未発見的なことがあったとして、そのことを論文等で公表していくものではないかと思うのですがいかがですか。

（事務局）橋本家文書についてはまだ整理中ではあるのですが、戦国武将の文書については多少吹田市史の方でも触れております。それ以外の物についてはこれまであまり公開されてきておりませんので、整理を進めながら橋本家文書の紹介というのも進めていきたいと思っています。

（議　長）博物館の基本的なことに調査・研究活動というのがありますから、言われたように進めていただければと思います。余談になりますが、今日来る際のタクシーの運転手に「博物館って何展示しているのですか」と聞かれたんです。例えばタクシー会社の運転手さんを研修で呼んで、チラシをタクシーに置いてもらうとか、お客さんに言ってもらうとか、そういう作戦もおもし

ろいかもしれないですね。
タクシー会社の研修をしてもいいのではないでしょうか。

【４　案件（２）課題討論（令和４年度事業点検・評価について）】

（議　長）では、案件（２）の課題討論へと進めたいと思います。令和４年度の事業点検・評価について、事務局へ説明を求めます。

（館　長）案件に入ります前に、この件に関しまして追加資料がございます。配付してよろしいですか。

（議　長）はい。皆さんにお配りしていますのは、欠席されている委員から本日送付していただいた点検・評価資料です。本日配付されている点検・評価には反映されていないと思うのですが、反映させたら評価等は変わりそうでしょうか。

（館　長）本日届いた資料ですので、配付した資料と並行してみていただき、追記する必要がある意見については外部評価に追記し、改めてまとめていきたいと考えています。

（議　長）それでは、事務局より御説明お願いします。

＊大項目「１．地域の歴史・文化・自然遺産を守り、未来へ伝える博物館」について
事務局より説明。

（議　長）外部評価点について、それぞれの委員評価をどのように数値化して表記しているのか。

（館　長）ＡＡＡを３点、ＡＡを２点、Ａを１点、Ｂを０点とそれぞれに点数をつけて平均して評価点をつけています。

（議　長）欠席委員の評価はＡになっているが、全体の評価は変わるのでしょうか。

（館　長）変わらないと思います。

（議　長）欠席委員が書かれている吹田市第４次総合計画との関連性がきちんと明記できていないので、「生涯にわたって学べる環境を整える」「受け継がれてきた魅力を発信する」ための方策として、実施できたと評価した方がいいのではないかとあり、外部評価の文言の修正の必要はあるが全体としては評価できるとしています。

（館　長）吹田市第４次総合計画との関連を明記した方が良いのではと考えています。

（議　長）委員の皆さん、御意見ございますか。

（委　員）ＡＡがついていることに対して、外部評価でデータベース化がまだまだ不足しているという内容になっているが、もう少し評価した内容にしてもいいのでないかと考えています。

（委　員）データベースの内容を見ていないので意見しにくい部分があり、見ることでまた評価が変わってくるのではないかと考えています。タイムスケジュール的にはどうなのでしょうか。

（館　長）データベースの公開については、１月にホームページ上で公開予定です。

（議　長）今の段階で判断するということは難しいということでしょうか。

（館　長）本年度の事業評価は、来年度にしていただくことになります。令和４年度についてはデータベースを作った成果ではなくて、データベース化していく準備ができたということです。

（委　員）去年の活動の評価だから見ていないから分からないというのが、私の考えです。

（議　長）特にございませんか。外部評価点ＡＡで良いかの確認をしておいた方がいいのではないでしょうか。何か御意見があったらお願いします。

（委　員）データベース以外については、よくやっておられると思いますのでＡＡと評価できるのではないかと思います。

（委　員）評価の時に重点項目中心に評価してくださいということでしたので、ここがメインになると

思います。ＡＡにするのであれば目標達成の指標を進捗度とかにして、例えば、予算を獲得するとかであればＡかも知れませんし、予算獲得に重きを置くのであればＡＡでもいいのではないでしょうか。

（議　長）いかがですか。

（館　長）予算獲得だけではという御意見をいただきましたが、御意見として外部評価に追記しておくことは必要かと思います。予算がつき今年度事業できるようになったということは評価できるのではないかと考えています。

（議　長）ＡＡにするとして、他の委員の皆さんはどのような御意見をお持ちでしょうか。

（委　員）評価項目を見て、取り組んでいることについて目に見える形で評価している印象があるので、データベースがまだ見えてこないですが、大盛況であったとか、資料収集、橋本家文書の調査とかに取り組んでいるというのが見えますので、この評価で妥当ではないかと思います。

（議　長）欠席委員の御意見も外部評価に記載していただけるのですか。

（館　長）同様の意見があったときには、元の表現を活かしながら２つの文章をつなげたりとかしています。欠席委員記載内容は、この御意見しかなかったのでどうしたらよろしいですか。

（議　長）この場で、欠席委員の御意見を記載するとかがあってもいいのではないでしょうか。

（委　員）欠席委員の御意見は、予算計上しただけでは実績として評価できないということで、計上し予算を獲得できたので今後に期待したいというような内容にすれば評価していることになるのではないでしょうか。

（議　長）今の御意見も含めて少し修正いただいて、ＡＡということにします。では、次の項目をお願いいたします。

＊大項目「２．地域文化の情報発信拠点としての博物館」について事務局より説明。

（議　長）外部評価については、欠席委員もＡということで一致しています。外部評価の内容について、こういう事業をやった方がいいといった提案的なところや、欠席委員も書かれている吹田市第４次総合計画との関連付けといった文章表現の修正点などについて、委員の皆さんから御意見をお願いします。

（委　員）地域文化の発信拠点としての博物館からの情報発信として、ＳＮＳをもう少し活用してほしい。特にＬＩＮＥやインスタグラム、ＱＲコードなどをもっと気軽に活用できるようにできないだろうか。評価はＡと思います。

（委　員）具体的な内容が多く記載されているので、もう少し文章整理した方がよいのではないか。

（館　長）「～できる」という表現が多く、どのようにしようかと思いながらまとめてみたのですが、要望が多いという点については、次年度以降の方向性が分かるようにまとめた方がいいと考えています。また、展示評価について御意見をいただいているのですが、この内容はこの項目に記載すべきものなのかということ、また、協議会委員の意見として博物館が受け止めているということで記載しておくべきなのか、御意見をいただきたいと思います。

（議　長）このことについては、この事業評価報告書とは別に委員から御意見があるという項目などを設けてもいいのでないかと考えています。当方の博物館で外部評価を行った時も様々な意見が出るのですが、関連性がない意見が出てきた時、そのまま記録として書いておくというやり方もあると思います。

（委　員）要望としてたくさん出てきていることについては整理していただけたらいいと思います。また、すでに成果を上げて取り組んでいる点もあると思いますので、評価として整理していただ

いた上で、課題は課題として指摘されているということで、評価的には妥当であると考えています。

（委　員）色々頑張っていただいているので、特にございません。

（議　長）どのようにしましょうか。Ａという普通の評価になっているのは、評価できる点と今後に向けての課題があるのでＡＡはつけられないということだろうと思います。外部評価の書き方についてですが、一人ひとりの意見が羅列されている状態なのですか。

（館　長）必ずしもそうではなく、同様の意見については再構成し、各委員の意見は活かしながら文章としてまとめていっています。一人だけの御意見についてはそのまま載せてあります。

（議　長）評価がＡというのは委員の皆さんも一致しているところですが、外部評価のまとめ方の問題だけです。記載されている内容がどのように反映されるのかということについては、博物館の方で改善していく指標にしようとなるのか、いかがですか。

（館　長）事業評価報告書については公開しますので、これを見て一般市民の方から御意見をいただいたりすることもありますが、博物館内でも評価内容を受け止め、次年度に向けて改善していく指標にもなってきます。

（議　長）この事業報告書を読んだ人がＡ評価を理解できるのであれば、これでいいのではないでしょうか。

（館　長）達成されたことと課題が分かるように校正します。

（議　長）評価されていることと課題や提案を分けて記載する方がよいのではないでしょうか。

（委　員）言われていた展示の評価については、評価項目外の意見として最後に書くようにした方がいいのではないでしょうか。

（館　長）協議会の意見として、外部評価の最後に記載したいと考えています。

（議　長）ＳＮＳなどで発信するものが、展示会の告知だけではなく、博物館の学芸員の活動内容も発信していけたらと考えています。それでは、この項目は評価Ａということで、外部評価の記述内容については委員の意見を反映させていただくということで、次の項目に参りましょう。事務局より御説明お願いします。

＊大項目「３．市民と協働し、ともに活動する博物館」について事務局より説明。

（議　長）ここで、欠席委員の評価もＡで皆さんの評価もＡということですが、内容について皆さんの御意見がございましたらお願いします。

（委　員）外部評価で「自己評価点が改善しており」とあるが、このような表記は特に問題はないのか。

（館　長）令和３年度評価Ｂのところが令和４年度評価Ａとなったことについての御意見だと考えています。

（委　員）２段落目最後の「また、」以降について、唐突な感じがして、これは紫金山公園の話なのか、ボランティアさんの話なのでしょうか。

（館　長）博物館自体が紫金山公園の中にあると受け止めています。

（議　長）これに関しては、最下段に記載して一般の市民の方が事業評価報告書を見たときに目立つようにして、「カフェとかあったらいいよね」と話題になるようにした方がいいかもしれない。外部評価の委員としてこのような評価が出ていることを伝えられればよい。

（館　長）紫金山公園の魅力向上事業を今年度からスタートしているので、令和４年度の評価ではあるが、今年度につなげていく表現にしていければと考えています。

（委　員）博物館に来る人が、食べ物屋やショップが他所にはあるのに、まったくないというのが残念

だと感じています。これから、魅力向上事業が始まるときに博物館からこのような意見を出してほしいという思いを込めて外部評価としてみました。

（館　長）博物館協議会からこのような意見が出ているということを記載しておけば、報告書を読んでいただいたときに分かるかなと思います。

（委　員）博物館の敷地内にこのような物を作るのが難しいとしたら、他の公園でよくやっているのですが、キッチンカーなどを呼んで買って少し食べられるというもあるのではないか。そのような機会があれば子供達もたくさん来るので、博物館に来館するきっかけになるのではないか。キッチンカーなども考えていただければと思います。

（議　長）今のような内容も、外部評価に加えますか。外部評価に記載されているのは建物が欲しいとなっていますので、建物や場所といった表記にしてはいかがですか。

（館　長）紫金山公園で何年か前に、社会実験としてキッチンカーを呼んだことはありますが、博物館への入館までは至っていなかった。委員が言われているような場の提供を検討しているというような表現でよろしいでしょうか。

（委　員）建物という表現は少し露骨なので、場所といった表現にしてはどうですか。

（館　長）多くの人が集える場所や空間があればと考えています。

（委　員）市民が集う、少しの魅力をプラスすることも必要だと考えています。

（議　長）以上の内容も反映していただいて、評価はＡということでよろしいですね。それでは、最後の項目に参りましょう。事務局より御説明お願いします。

＊大項目「４・社会とともに歩む博物館」について事務局より説明。

（議　長）欠席委員がＢと評価していることをどのように判断するか。

（館　長）厳しい外部評価をされている委員も複数名おられました。A評価の方でも北大阪ミュージアム・ネットワークなど個別の連携等について再整備する必要があるとの意見もいただいています。

（委　員）評価の基準としては実施回数とか数的データを見て、私はＡにしました。その上で内容に少し課題があると思いますので、この項目をやっていないかのようなＢにするのは厳しい。Ａのままでいいのではないですか。

1. （委　員）外部評価は甘いＡだと思いますが、欠席委員がおっしゃっている YouTube についてですが、当時新型コロナウイルス感染症の影響で来館できないから YouTube を使って配信していた。これはいいシステムだと考えていますが、著作権の事などできない理由を博物館が述べられるが、社会とともに歩む博物館ならやっていただきたいと考えています。

（委　員）来館したくても足を運べない方々もおられますので、そういった人達用にも内覧できるような取組システムを作ってもいいのではないでしょうか。

（委　員）学校との連携についてですが、コロナ禍で職場体験学習を継続するのが難しくなっているので、ハロージョブプロジェクトの取組ということで、企業の協力をいただきながら、企業からの課題提案に対する企画を中学生が班に分かれて考え、企画内容を発表するという取組を進めています。このような取組を行うことが博物館との距離を縮めていくために有益だと考えています。今後、このような学校との連携のためハロージョブの取組なども取り入れていただけたらと考えています。実施回数や内容といったことについては他の委員が言われているとおりで、評価としてはＡでいいのではないでしょうか。

（館　長）実施回数はあるが内容は伴っていないといったことかと思います。評価はＡだか内容的には

Ｂに近いといった表現で記載した方がいいのでしょうか。

（議　長）そのような感じでいいのではないでしょうか。

（委　員）ホームページのバーチャルミュージアムでポイントとなるところは、アップしてもらっている。特別展示などの発信は評価できるが、参加できない講演会などをアップして欲しいと考えている。

（議　長）私自身が思うのは、働き方改革によって学芸員も仕事が制限される中、潜在的なマンパワー不足は続いているという状況があるので、すべてのことをこの人数でやっていくのは無理があるのではないかと考えています。他館ではいかがでしょうか。

（委　員）人と予算の問題があります。当館でもビデオが止まっていて、コロナ禍ではかなり作成したのですが、学芸員が同時にやっていくのは難しい状況にあり、予算を確保して作らないと難しい。専門技術と予算の問題も含めてあると考えています。

（議　長）マンパワーの必要性についても、博物館協議会の意見として記載しておけばいいのではないでしょうか。働き方改革の観点でいうと図録を作成できなくなります。働き方改革の観点からの記載があってもいいのではと考えています。

（館　長）第３次総合計画では、学芸員の員数確保などの職員体制についての項目を入れていましたが、事業評価にはそぐわないということで外されています。そこで、今回、記載するとすれば、事業評価報告書を議長名で提出する際に、議長の意見として追記しておくというのはいかがでしょうか。

（議　長）時代背景から働き方改革というのはリアル感があり、様々な職種において社会問題化していますから、いずれかに記載していただいたらと考えています。評価に厳しい意見があるのもマンパワーによるところもあると考えています。最後の項目は評価Ａということでよろしいですか。

（議　長）その他、案件などございますか。

（館　長）本日いただいた御意見を最終報告書にまとめていきます。その際、博物館と議長の間で調整して、まとめていくという方向でよろしいでしょうか。

（委　員）異議なし。

（議　長）では、これで第２回吹田市立博物館協議会を終了させていただきます。